

## 編集後記

第31回断層映像研究会は、平成14年11月15日、16日と、高知市のホテル日航高知で、高知医大放射線科の吉田祥二教授を会長に盛大に開催された。

この学術総会は、大体が便利な大都会で開催されることが多いが、高知市は勿論四国で開催されたのは、初めてである。吉田会長以下、教室の方々のご努力により充実した内容であった。詳しくは、研究会雑誌の29巻2・3合併号を参照して頂きたいです。

特別講演は、有名な欧州放射線学会会長の Rolf W. Guenther アーヘン大学教授による「Diagnostic imaging and image-guided interventions-The silent revolution」という演題で行われた。広範な放射線診断について、多方面からの検討を加えて、将来の展望を紹介した講演で大変好評であった。吉田会長のお話では、ハイデルベルグ大学に留学時代に一緒に仕事をした仲間の一人で、その縁で今回の研究会に講演をお願いしたとのことであった。飾らないフランクな人柄で、参加者からも好感を持たれたように感ぜられた。

教育講演は、東大医科研の渋谷正史教授による「血管新生と腫瘍」という基礎的な演題であった。

シンポは4つあり、超音波、CT、RI、MRIの方法論でまとめられて、そのメインテーマは「治療効果予測・効果判定」というものであった。

その他に恒例の各メーカーによるPET-CT装置の進歩という事で、最新の機器の紹介があり、PET時代を迎えて、時宜を得た企画であった。

一般演題は22題あり、展示発表であった。優れた展示発表には、大会長から表彰状と賞品が授与されたが、若い参加者の励みになればという会長の心遣いが感ぜられた。

天候にも恵まれ、紅葉の高知城や、坂本龍馬の誕生日で賑わう桂浜も訪問でき、はじめて高知を訪れた小生にも、色々な意味で感銘の深い大会であった。

一望の 冬の海なり 竜馬像

(まちだ雪月花)

来年の本大会は、田中良明日大教授が会長で、平成15年11月14日、15日に開催されることになっています。

町田喜久雄

### 断層映像研究会雑誌

第29巻第4号 (断層撮影法研究会雑誌より通巻)

2003年2月1日 印刷

2003年2月28日 発行

発行人 田中良明

編集委員長 町田 喜久雄

発行所 断層映像研究会

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1

日本大学医学部放射線医学教室内

断層映像研究会事務局

TEL. 03-3972-8111 (内線 2552/2553)

FAX. 03-3958-2454

定 価 2,000円